

九州ルーテル学院大学

Teaching Portfolio

2020



所 属： 人文学科心理臨床学科

名 前： 古賀 香代子

作成日：2020年10月15日

九州ルーテル学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

教員氏名：古賀香代子

所属：人文学部心理臨床学科 臨床心理学専攻

1. はじめに

人文学部心理臨床学科で臨床心理学を担当しています。公認心理師、臨床心理士、精神保健福祉士の資格を持ち、長年医療・保健分野の現場で仕事をしてきました。初めに携わった仕事は児童相談所の乳幼児の発達相談、乳幼児発達健診の心理相談、療育の心理アセスメント等でした。精神科病院に就職した後は、心理業務一般に加え、チーム医療によるリハビリテーションの中でデイケア、SST等を担当しました。児童思春期外来ではプレイセラピーや発達障害の家族会等の担当をしました。精神保健福祉士の資格を取得した後、障害者自立支援法の成立に合わせ、地域生活支援センター、障害者就業・生活支援センターの長を歴任し障害者ケアマネジメントの手法による相談支援事業とその指導を行ってきました。この間、精神障害長期入院者退院促進事業熊本県コーディネーターをはじめ、玉名市や長洲町等の福祉計画策定への参画など広く精神障害者の支援を中心に仕事を展開しました。その後再び医療現場の心理業務に移り、国立病院機構菊池病院の心理療法士主任として精神科一般外来の他ものわすれ外来の認知症等心理検査、治験、精神鑑定心理検査補助、医療観察法関連業務等を行い、東日本大震災では琉球・菊池病院の心のケアチームとして岩手県に派遣されました。その後、大牟田市の不知火病院に移り、主にうつ病の治療に特化したストレスケア病棟のリワークグループを多職種の中の心理職として担当しました。また、菊池病院と不知火病院ではマインドフルネスによる治療グループを立ち上げに参画したことが私の心理療法の効果に関する認識を大きく変えました。これは現在の最も大きな研究の関心になっています。2018年より九州ルーテル学院の専任教員となり現職です。公認心理師資格取得後は、ストレスチェック制度の実施者研修を修了しました。大学では、私の心理臨床と福祉のさまざまな分野の体験を次の世代に伝えていきたいと考えています。

2. 教育の責任

2020年度は心理臨床学科長として、心理臨床学科の3つのコース（心理学コース、特別支援教育コース、精神保健福祉コース）の統括をしています。大学教育がスムーズ

に進められるよう、カリキュラムや教科指導のシステム、学生が有意義に学生生活を送るための支援などを実践しています。また未来に向けて九州ルーテル学院大学のビジョンに基づいた新たな教育の在り方を検討し、整備を進めています。

私の教科担当は主に公認心理師カリキュラムが中心になります。実務系教員として、対人援助職の基本的な姿勢を大事にして、実用的で現場から求められる人材を育成したいと考えています。私は主に医療領域と福祉領域で仕事をし、教育領域では現場で求められる能力を、これまでの豊富な経験から、学生に伝え、身に付けていくような教育を行います。専門的な知識の獲得と合わせ、実習・演習を通した学びを重視します。実習においては地域の保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野の施設等との連携を充実し、学生の実習の質の向上に努めていきたいと考えています。また、今後の学内実習施設の拡充に向けて準備する予定です。

2.1. 授業科目の担当

2018年～2020年度の3年間は以下の表の科目を担当している。

科目名	開講年度時期	履修者数	備考
フレッシュマンゼミ	2018年前期	25	
心理査定法	2018年～2019年前期	160	
精神分析学	2018年～2020年後期	137	
人格心理学	2018年前期	84	
外書講読	2018年後期	7	
カウンセリング青年期	2018年～2019年後期	112	
カウンセリング	2020年度後期	17	
公認心理師の職責	2019年～2020年前期	58	
社会・集団・家族心理学Ⅱ	2019年～2020年後期	86	
福祉心理学	2020年前期	41	
心理演習Ⅱ	2020年後期	20	
心理実習Ⅰ	2020年前期	19	
心理実習Ⅱ	2020年後期	16	
心理臨床の基礎	2018年～2020年後期	220	オムニバス
特別研究	2018年～2020年後期	20	
卒業研究	2019年～2020年通年	13	
心理療法特論Ⅰ	2019年後期	5	大学院

心理療法特論Ⅱ	2018年・2020年後期	13	大学院
研究指導	2019年～2020年	2	大学院

■ 主要担当科目

■ 公認心理師の職責

公認心理師養成カリキュラムの始めに履修する必須科目です。科目名の通り、公認心理師の職責について学びます。心理の初の国家資格となった公認心理師は、公認心理師法に4業務の心理的アセスメント、アセスメント、コンサルテーション、心の健康教育が掲げられ、主に保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5領域で行うこととされています。講義ではこれらの現場と公認心理師の仕事について紹介し、特に公認心理師に求められる職業倫理や心理支援等に係わるための姿勢などの専門職としての働き方を学びます。多職種連携によるチームアプローチができること、生涯学習をすること、研究等の実践が必要であることなど公認心理師に求められる姿についても触れます。

■ カウンセリング

心理学に基づいたカウンセリングの理論の学びと並行して実践的なカウンセリング演習を行います。授業では毎回30分程度の実技の時間があり、セラピスト、クライアントの両方の役割を体験します。毎回強調するのは、自分の体験を通して学ぶということです。簡単なワークでも、多くの気づきが得られる内容になっています。特に毎回のように練習するラビングプレゼンツはセラピストの基本的な態度として推奨しているのですが、学生からは普段の生活にも役立つと感想をもらいます。2020年度は心理学科以外の学生が対象となっているため、関心を持ちやすい発達障害やインターネット依存などを取り上げるなどの工夫をし、心理学理論や精神疾患などについて説明していきます。また、学生の質問を講義で取り上げ、その日のテーマに関連した説明を通し、講義の内容の連続性にも配慮しています。

■ 心理査定法・心理療法特論Ⅱ

心理検査の講義です。病院の心理職の業務は心理検査が大きなウエイトを占めます。心理検査を行うためには心理検査の理論や各検査の作成に係わる理論構成、実施法、処理、所見作成の方法等に精通するだけでなく、心理検査を行う基本的態度を身に付ける必要があります。診療のための検査の他、薬の開発に係わる治験の心理検査、乳幼児発達健診や療育現場での発達検査、精神鑑定に係わる心理検査等の豊富な体験を元に、実践的な心理検査の体験学習を行います。

学部での教育以外の教育実践は以下のようなものがある。

非常勤講師

2020年度 城北高等学校看護科「精神看護学」

高校出張講座

2018年 熊本西高等学校 「災害時の心のケア」

2019年 黒石原支援学校 「心理学への招待」

2020年 ルーテル高等学校「心理学への招待」

公開講座

2018年 くまもと県民カレッジ「ストレスケアの為のマインドフルネス」

2.2. 教育組織運営

心理臨床学科長：心理臨床学科全体の統括

2020年度所属委員会等：学長室会、教務委員会、内部質保証推進委員会、臨床研究所運営委員会、研究費不正防止委員会、研究ブランディング委員会、学科再編検討ワーキンググループ、公認心理師臨床系ワーキンググループ

3. 教育の理念

3.1. 理念1 実践力

3.2. 理念2 連携力

3.3. 理念3 豊かな心

4. 教育の方法

教育理念との関係では以下の点を重視した教育方法を取っています。

4.1. 実践力について

実践力の一つ目は、基本的な学びの姿勢を持つことです。心について大学で学んだことを社会で広く実践するために、基本的な知識を確実に学んでほしいと考えます。そのために、科目によっては小テスト等を実施します。また、アセスメントや面接等の報告書作成等が心理業務の多くを占めるため、レポート等を通し、自分の考えを簡潔にまとめる訓練を行います。

実践力の二つ目は、実際に知識を活用して考え、適切な行動がとれることです。演習・実習を通し体験から学ぶ姿勢を作ります。次に、体験したことがどの理論に基づくものかを確認し、学びが実践につながるようにしています。

4.2. 連携力について

多職種連携やチームアプローチ等、これらができることが広く求められる時代になりました。自分の専門だけではなく、異なる専門家の立場や理論背景を理解し、協働できることが望まれます。このような他者理解の視点の学びに重点を置きます。

コミュニケーション・スキルも重要であり、グループワーク、発表等を通じた発言力、傾聴力を高めるように指導します。

4.3 豊かな心について

豊かな心とは、感恩奉仕の理念に重なるものです。もっと広く、人や世の中の様々な出来事、あり様に絶えず興味関心を持ってほしいと思います。そのためにアニメやドラマ、映画、小説などを題材に講義を工夫します。ニュースに関連して心理学のテーマを考えてもらうこともあります。多くの人に関わる仕事をするためには、多彩な価値観や考え、それぞれの興味関心について自分の心の扉を開けておくことが必要であることを、伝えるようにしています。

5. 教育改善のための努力

履修している学生が見通しを立てて学修ができるように説明を行います。そのため、シラバスの確認を繰り返しながら、授業の進行を微調整しています。何を学んだかを自分で確認できるようなまとめの時間を作るなどの工夫をし、主体的な学びにつながるよう意識付けを行っているところです。2020年度はオンライン授業などで課題を多く与えているため、フィードバックの方法などを検討しています。

5.1. 改善努力1 授業評価アンケートと授業改善報告書

事前事後学修時間の不足が指摘されており、事前事後学修の指導が不十分だったことを反省し2020年度は講義の中で繰り返し説明をしています。MOODLEが導入され、課題等の告知、レポート提出、小テスト等などに活用しています。また、事前事後学修を計画的に指導できるよう講義の組み立ても含めて見直しを行っているところです。

5.2. 改善努力2

グループワークが少ない点について、科目によっては講義中心にならざるを得ないものもありました。しかし、その可能性については検討し、取り入れていきたいと考えています。講義中心の科目である精神分析学においては、基本的な精神分析学の理論を学んだあと、「千と千尋の神隠し」を題材に自我について学ぶ授業を展開しています。馴染みのあるアニメのストーリーであるため、興味が持ちやすく、ここに精神分析学の理論を重ねて説明しています。難解と言われる学問も実はこんなに身近で面白いものだと興味を持ってもらえるよう努力しています。

6. 教育の成果・評価

学生の評価は以下の通りです。

カウンセリング

- ・カウンセリングを実践しながら学ぶことでカウンセリングの難しさや聞いてもらうことの安心感を体験することができました。ありがとうございました。
- ・心について、カウンセリングについて改めて知ることができました。カウンセリングを通し、物事に対する考え方を変えていく、受け入れるようになっていくという言葉がすごく印象に残っています。

精神分析学

- ・精神分析学について詳しく学べてすごく興味が持てた。もっと早く学んでみたかった。
- ・説明がとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・千と千尋の神隠しの精神分析がとても心に残っています。
- ・千と千尋の神隠しを用いた精神分析を行ったのが楽しかったです。
- ・最後のレポート2つが辛かったです。

公認心理師の職責

- ・現場で働かれた経験、エピソードを元にとても分かりやすく話してくださいました。おかげで授業が楽しかったです。
- ・毎回小テストによって、公認心理師に求められる知識や技術、社会制度の仕組みについての確認ができた。心理分野のみではなく、多職種連携の力を高める為にも、様々な事柄に対して関心を持ち、知識を得る事で、自らの考えがより一層強固なものになると思った。

7. 今後の教育に関する課題と目標

公認心理師カリキュラムによる新規の科目がようやく出そろうところであり、内容及び教育効果の評価が今後の課題になります。特に公認心理師実習は本学初めての試みであり、事前事後学修の内容など、繰り返しの検討、改善が必要と考えます。目標は自ら学ぶことのできる人材の育成です。

8. 参考資料

- (1) 担当科目シラバス
- (2) 授業評価アンケート結果